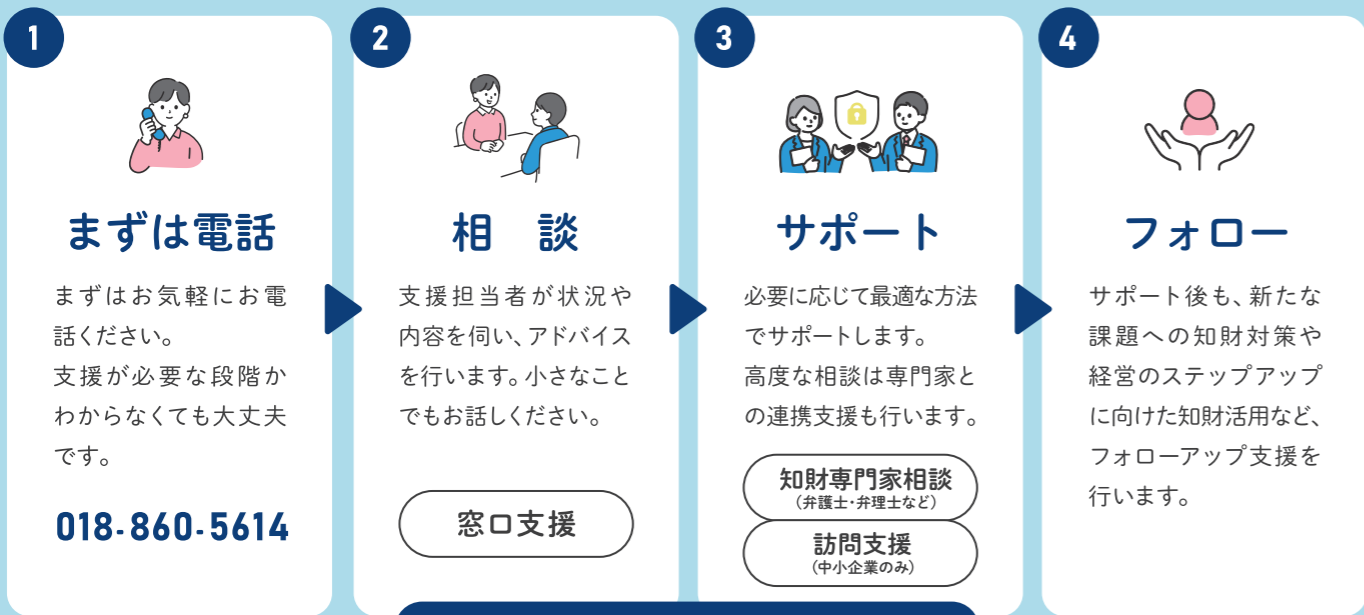
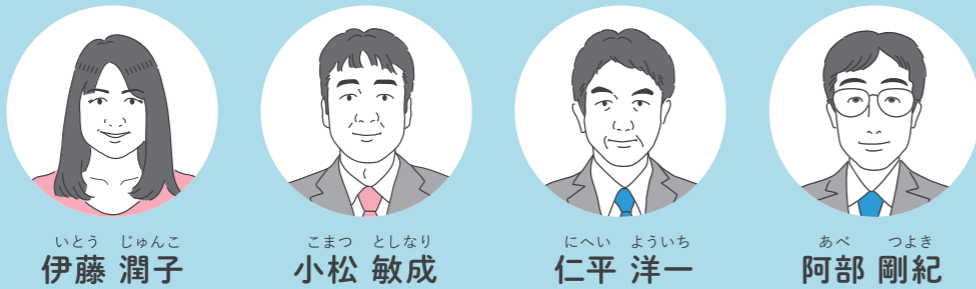


相談の流れ



窓口・訪問・オンラインでのサポートが可能です

専門知識を持つ
支援担当者が
サポートします。



知財窓口へのアクセス

•お車・タクシーの場合
JR秋田駅から約10分
P 県庁第二庁舎駐車場
(利用時間 午前8:30~午後5:30)



•バスの場合
秋田中央交通バス 県庁・市役所方面行き
♀「県庁第二庁舎前」下車すぐ

INPIT 秋田県知財総合支援窓口
独立行政法人 工業所有権情報・研修館 (INPIT)

所在地 〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目1-1 秋田県庁第二庁舎2階
受付日時 毎週月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15 (祝日、年末年始をのぞく)
TEL 018-860-5614 FAX 018-863-2390

受託機関: 公益財団法人あきた企業活性化センター 総合企画部 知財・デザイン支援課

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

あきた ちざい 秋田 知財



<https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/akita/>

事業者の皆さまへ、**知財**に関する支援のご案内です。

埋めてみませんか？

一緒に 事業の落とし穴

商品名 技術 発明 アイデア レシピ 契約 ノウハウ 営業秘密 商標 意匠 産業財産権
製法 ブランド 著作物 情報 ロゴ 特許 知的財産権
屋号 実用新案

INPIT 秋田県知財総合支援窓口
018-860-5614 直通番号 秘密厳守
毎週月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15 (祝日、年末年始をのぞく)

安心 公的機関です

無料で相談できます

1. やっと決まった商品名、他社にも同じ名前が...

差し止めになると変更が必要に。

商品名や社名などのネーミングは、使用前に同名が使われていないか調べたり、商標登録などで保護することで、安全に使用できるようになります。

「INPIT秋田県知財総合支援窓口(以下、知財窓口)」で、必要なサポートを行います。

🔍 商標調査支援

📄 商標出願支援など

2. 商品のデザインを「模倣だ」と言われてしまった...

最悪の場合は、訴訟から販売禁止になることも。

あらかじめ似ている商品がないか調査をしたり、意匠登録などで自社商品を保護しておくことが大切です。知財窓口で必要な手続きのサポートを行います。

🔍 意匠調査支援

📄 意匠出願支援など

3. オリジナルの技術、真似されないか心配...

営業秘密は管理して模倣から守りましょう。

技術や製法、レシピなどは、「営業秘密」として管理したり、特許登録など法律で守っておくことが大切です。知財窓口で適切な方法をアドバイスします。

💬 営業秘密管理のアドバイス

📄 特許出願支援など

4. 「差別化」といわれても、他社との違いをどうやって出せばいいかわからない。

見えない強みは、知財として見える形に洗い出すことができます。

自社の中では今まで意識していなかったようなことも、知財の視点から見ることによって重要な強みになるケースが多くあります。また、強みを知財活用で形にすることで、新たな事業展開が見えてくることもあります。

実は知財活用は、あらゆる事業の強化に有効なのです。

💬 知財視点からの経営や事業展開のアドバイスなど

5. 新商品が完成。すぐ展示会に出しちゃったら特許権や意匠権が取得できなくなるってホント!?

特許権や意匠権の出願はお早めに!

特許権や意匠権を登録するには、原則「公開前であること」が条件です。

新商品や新サービスは、開発の段階から知財窓口へのご相談をおすすめします。

💬 商品開発への知財アドバイスなど

新しく事業を始める人も、
既に事業をしている人も。
気になったらまずは相談!



知財窓口 (INPIT 秋田県知財総合支援窓口) は公的な相談機関です。回数制限なし・無料で相談できます。 ☎018-860-5614

県内の知財活用事例 ①

こめらむね製作委 製造業

きっかけ 観光地等でワンハンドで食べ歩きができる和菓子の商品開発と事業化について、知財面での支援を(公財)あきた企業活性化センターのデザイン担当から依頼されたことをきっかけに支援を開始しました。

サポート ● 専門家(弁理士)派遣を活用し、知財戦略に関するアドバイス
● 販売開始に間に合うように意匠と商標の出願から権利化まで一連のサポート

成果 ワンハンド和スイーツ「射貫もなか」の初おひろめ(販売開始)の場として「おやつフェス」(東北最大級のおやつの祭典)へ出店し、約400本を販売。
商品の外観デザイン(意匠登録第1794316号)と商品名「射貫もなか」(商標登録第6961429号)の権利化についても計画どおり進み、知財保護された商品に自信を持って情報発信し、秋田の新しいワンハンド和スイーツとして知名度が上昇しました。

意匠登録(第6961429号)・意匠登録(第1794316号)



県内の知財活用事例 ②

有限会社 キューテックス 製造業

きっかけ 金属リサイクルに欠かせない焼成炉を用いて、スクラップを純度の高い金属に再生するための開発を長年行ってきました。その発明技術の特許権で保護したい。

サポート ● 専門家(弁理士)を活用した、発明の特徴を明確化するための助言
● 外国出願補助金を活用した外国出願手続きの支援
● 専門家(弁護士)を活用した、取引先との知財関連契約の締結に向けた助言など

成果 日本出願してからわずか3か月ほどで特許権を取得しました。地元の新聞だけでなく全国紙にも取り上げられ、問合せが殺到。また外国出願における補助金申請が採択されました。海外展開も視野に入れた新事業の取組みにより金融機関との繋がりが強化されました。

特許(第755554号)・W02026004273

